



ビジネスプロジェクター EB-1420WT かんたん操作ガイド

本書では、以下を説明しています。

- ・本機を使い始めるまでの準備
- ・投写するまでの基本操作
- ・インタラクティブ機能の基本操作

目次

| 同梱品を確認する |
|-------------------|
| 本機を設置する |
| 本製品のマニュアルについて3 |
| コンピューターと接続して投写する4 |
| 映像がうまく投写できないときは |
| 付属のアプリケーションを活用する6 |
| インタラクティブ機能 |
| インジケーターの見方 |

本機を壁掛け・天吊り設置するための工事が済んでいるときは、 設置や映像の補正まで完了している場合があります。

インフォメーションセンター 製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。 050-3155-7010

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

サービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ、出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報 を満載したエプソンのホームページです。



Copyright©2014 Seiko Epson Corporation. All rights reserved. Printed in China XX.XX.-XX(XXX)

*412730300



本製品のマニュアルについて

本機には次のマニュアルが添付されています。本機を安全に正しくお使いいただくために、 添付のマニュアルをよくお読みください。

| 囲ヱ (紙)の | 『設置工事説明書』 |
|------------------|--|
| モデ (紙)の マニュアル | 本機を壁掛け設置する手順と、コントロールパッドを設置する手順が記載 されています。設置時に必ずご覧ください。 |
| | 『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』 |
| | 本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案 内が記載されています。 お使いいただく前に必ずご覧ください。 |
| | 『かんたん操作ガイド』(本書) |
| | 本機を使って投写するまでの手順や、インタラクティブ機能の基本操作を 記載しています。 |

より詳細なマニュアルは、Document CD-ROM に収録されています。

『取扱説明書』(PDF)

CD 収納の マニュアル

本機の操作方法全般と、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れ方法などを記載しています。

『EasyMP Network Projection 操作ガイド』(PDF)

EasyMP Network Projection の使い方を記載しています。 ネットワーク経由でコンピューターの画面を本機から投写できます。

『EasyMP Multi PC Projection 操作ガイド』(PDF)

EasyMP Multi PC Projection の使い方を記載しています。 ネットワークに接続したコンピューターやスマートフォンなどの画面を同時に4台まで本機から投写できます。

『Easy Interactive Tools 操作ガイド』(PDF)

Easy Interactive Tools の使い方を記載しています。 本機から投写したコンピューター映像上に文字や絵などを描画できます。

Document CD-ROM 内のマニュアルの見方



| 98-229-9000EF | | RIB-ROOM | |
|--|-------------------|---|--|
| 0 2000 0 2005 0 2005 0 200 0 20 0 20 0 2 | Billion have been | CAN DEBUTY ATTO-OF | |
| 0 8408/15- 0 855882 0 10000 | And T-110.07 | 250-70887737-535 Safe Maria #8517 Ng Jawa pang Diseitad | |

EPSCN 取扱説明書 ビジネスプジェクター EB-1430WT EB-1420WT

PDF をご覧いただくには Adobe Reader が必要です。

コンピューターと接続して投写する

コントロールパッドを使ってコンピューターの映像を投写する方法を説明します。 コントロールパッドの設置方法は『設置工事説明書』をご覧ください。

参考

コントロールパッドを使わずに投写するときや、オプションのコンピューター ケーブルを使って投写するときは、『取扱説明書』「接続する」をご覧くだ さい。



お使いになる前に、プロジェクターとコントロールパッドが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。



コントロールパッドの使い方

コントロールパッドの詳しい使い方については『取扱説明書』をご覧ください。

□ 各ボタンの機能

警告

注意



- ・投写中はレンズをのぞかないでください。
 - ・必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につ なぐ前に行ってください。また、接地接続を外すときは、必ず電源プラグ を電源から切り離してから行ってください。
 - ・投写レンズ付近にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。投 写光が集束するため高温になり危険です。

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災 の原因になることがあります。



映像がうまく投写できないときは

操作パネルやフォーカスレバーを使って映像を補正します。詳しい補正方法は『取扱説明書』 をご覧ください。

- ・映像のサイズを調整したいときは、操作パネルの【ワイド】【テレ】ボタンを押します。
- ・映像のピントを調整したいときは、本機の側面にあるフォーカスレバーを使います。
- ・台形にゆがんだ映像を補正したいときは、操作パネルの【四】または【四】ボタンを押して 台形補正画面を表示します。台形補正画面で【四】【四】ボタンまたは【ワイド】【テレ】ボ タンを押すと、映像を補正できます。
- ・映像の位置を調整したいときは、デジタルピクチャーシフト調整画面を表示します。デジタ ルピクチャーシフト画面は、ズーム調整または台形補正を行ったあとに表示されます。

付属のアプリケーションを活用する

同梱の EPSON Projector Software CD-ROM に収録されているアプリケーションを使うと、以下のことができます。詳細は『取扱説明書』をご覧ください。

■ ネットワークに接続して投写する

ミーティングや授業などで複数のコンピューターやタブレット端末の画面を投写するときは、ネットワーク経由で接続すると便利です。 ネットワーク経由での投写には、同梱の EPSON Projector Software CD-ROM に収録されているソフトウェアを使います。

- 複数の資料を切り替えて投写する (EasyMP Network Projection)
- 複数の資料を同時に投写する (EasyMP Multi PC Projection)



タブレット端末の画面を投写するときは、Epson iProjection をダウンロードします。 Epson iProjection は Google Play または App Store から無料でダウンロードできます。 ※ App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。 ※ Google Play は、Google Inc.の商標です。

| 1. | |
|----|---|
| 訞 | Z |
| 1 | 5 |

- ・[接続モード]を[かんたんモード]に設定しているときは、初期状態のパスフレーズが設定されています。初期状態のパスフレーズが設定されている場合は、EasyMP Network Projectionを使うときにパスフレーズの入力を省略できます(初期状態のパスフレーズは非公開です)。
 ☞ [ネットワーク] [無線LAN] [接続モード]
 - ・Epson iProjectionを使うときは、任意のパスフレーズに変更してください。 ☞ [ネットワーク] - [セキュリティー] - [パスフレーズ]

インタラクティブ機能

インタラクティブ機能は、以下の3つのモードがあります。 ここでは各モードを使い始めるまでの流れを説明しています。



ホワイトボード画面に描画する (ホワイトボードモード)



投写映像に描画する (アノテーションモード)



投写画面からコンピューターを操作する (マウス操作)

目次

| Easy Interactive Pen の使い方 | |
|-------------------------------|---|
| ペン位置合わせ(自動位置合わせ) 9 | |
| ホワイトボード画面に描画する(ホワイトボードモード) 10 | 0 |
| 投写した資料に描画する(アノテーションモード) 10 | 0 |
| ホワイトボードモードのツールバー | 1 |
| 描画内容を保存する | 2 |
| 描画内容を印刷する | 3 |
| ホワイトボードを共有する | 4 |
| 投写画面からコンピューターを操作する(マウス操作)15 | 5 |

Easy Interactive Pen の使い方

Easy Interactive Penは2種類あり、ペン後方部の色が異なります(オレンジと青)。ペン後方部の色が異なるペンは、2本同時に使用できます。

お使いになる前に電池(1本)をセットしてください。

交換用の電池は以下のいずれかを使用します。

- 単3形マンガン乾電池
- ・単3形アルカリマンガン乾電池
- eneloop® ※ (HR-3UTG/HR-3UTGA/HR-3UTGB/BK-3MCC)
 ※ eneloop® はパナソニックグループの登録商標です。



1 ペン先ボタン

- ペン先ボタンを押すと、Easy Interactive Penの電源がオンになります。オンになった後、Easy Interactive Penを使用できるまでに約1秒かかります。
- ・描画するには、ペン先ボタンを押し当てて動かします。
- ・ポインターを移動するには、ペンを投写面から浮かせた状態で動かします。
- ② バッテリーインジケーター

ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。

- ・緑色に点灯:電池残量は十分です。
- ・緑色に点滅:電池残量が少なくなってきています。
- ・点灯しない:電池残量がありません。電池を交換してください。

3 ボタン

- ペン側面にあるボタンを押すと、Easy Interactive Penの電源がオンになります。
 オンになった後、Easy Interactive Pen を使用できるまでに約1秒かかります。
- ・描画時に押すたびに、ペン先ボタンの機能をペンから消しゴムへ交互に切り替えます。
- ・マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。

参考

- Easy Interactive Pen を 20 分間使わないと、電源が自動でオフになり ます。使用するときは、ペン先ボタンを投写面に押し当てるか、ペン側面 にあるボタンを押して、電源をオンにしてください。
 - Easy Interactive Pen のペン先の黒い部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。Easy Interactive Pen が動作しないことがあります。

ペン位置合わせ(自動位置合わせ)

以下のときにペン位置合わせを行います。

- ・Easy Interactive Pen を初めて使用するとき
- ・投写映像の補正やプロジェクターの移動などでペン位置がずれてしまったとき







環境設定メニューから自動位置合わせを開始することもできます。 [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [自動位置合わせ]を選択 してください。





3 パターン映像が投写され、ペン位置合わせが始まります。

完了するまで、しばらく時間がかかります。 パターン映像の投写中は、投写光の中に入らないようにしてください。



ホワイトボード画面に描画する(ホワイトボードモード)

ホワイトボードモードでは、ホワイトボードのような無地の背景が投写され、その上に Easy Interactive Pen で文字や図形を描画できます。描画した内容は、印刷したり保存したりするほか、 同一ネットワーク上の他のプロジェクターと共有もできます。



投写した資料に描画する(アノテーションモード)

アノテーションモードでは、投写した資料に Easy Interactive Pen で文字や図形を自由に描画で きます。プレゼンテーションで重要なポイントを強調したり、補足を書き込んだりするのに便 利です。

下段ツールバー

1 接続機器から映像を投写します。

2 Easy Interactive Pen の電源をオンにして、投写画面に近づけます。

投写画面にツールバーと下段ツールバーが表示されます。



ホワイトボードモードのツールバー

ホワイトボードモードで使えるツールバーの各機能は以下のとおりです。 詳しい使い方や、下段ツールバーの使い方は『取扱説明書』をご覧ください。



描画内容を保存する

ホワイトボードモードまたはアノテーションモードで描画した画面を、USB ストレージやネットワークフォルダーに保存できます。

保存可能なファイル形式は以下のとおりです。再編集可能な状態で保存したいときは、EWF形式を選択してください。EWF形式のファイルは、EB-1430WT/EB-1420WT以外のプロジェクターやコンピューターでは使用できません。

• PNG(解像度:1280×800)

・PDF(ホワイトボードモード時のみ。必要に応じてパスワードをかけられます)

・EWF(ホワイトボードモード時のみ。必要に応じてパスワードをかけられます)

コントロールパッドの【保存】ボタンまたは下段ツールバーの を 押します。

コントロールパッド

下段ツールバー





2 ホワイトボードモード時:保存画面で必要な設定をして[保存]を押します。 アノテーションモード時:表示されるメッセージに従って保存を実行します。



描画内容を印刷する

ホワイトボードモードまたはアノテーションモードで描画した画面を、USB ケーブルまたはネットワークで接続されているプリンターで印刷できます。 プリンターの接続方法については、「取扱説明書」「接続する」をご覧ください。



コントロールパッド

下段ツールバー







アノテーションモード時は、ホワイトボード設定画面のプリントメニューで設定したプリンターで印刷されます。
 ☞ [拡張設定] - [ホワイトボード設定画面へ] - [プリント] - [既定のプリンター]

ホワイトボードを共有する

共有機能を使うと、同一ネットワーク上の他の機器とホワイトボードを共有して描画したり、 他のプロジェクターのホワイトボードを閲覧したりできます。 詳しくは『取扱説明書』「描画内容を他の機器と共有する」をご覧ください。



タブレット端末の Web ブラウザーを使って、 共有されているホワイトボードへ接続 プロジェクターを使って、 共有されているホワイトボードへ接続

投写画面からコンピューターを操作する(マウス操作)

USB ケーブルを使ってコンピューターを接続すると、投写画面上でコンピューターを操作でき ます。コンピューターのマウスと同じようにクリックやドラッグ&ドロップなどができます。



) 同梱の USB ケーブル(約 1.8m)で、コンピューターの USB 端子とコ ントロールパッドの USB-B 端子を接続します。



ネットワーク経由でマウス操作をするときは、USB ケーブルは 不要です。

フロジェクターからコンピューターの映像を投写します。

環境設定メニューの [拡張設定] から、[USB Type B] の設定をします。



- ・USB ケーブルを使用して投写しているときは、「USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。
- ・コンピューターケーブルを使用して投写しているときは、[Easy Interactive Function1 に設定します。



| インジケーターの |)見方 | ニ点灯 ニ点滅 ニ): 消灯 ニ、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二 | | | |
|--------------------|---|--|--|--|--|
| □ 正常動作時のインジケーターの状態 | | | | | |
| | スタンバイ | ()を押すと投写を開始します。 | | | |
| | ウォームアップ中 | むを押しても反応しません(約 30 秒)。 | | | |
| | 投写中 | 通常動作中です。 | | | |
| □ 異常 / 警告時のイン | ジケーターの状態 | | | | |
| | 内部異常 | 電源プラグをコンセントから抜き、修理を依 | | | |
| | ファン異常 センサー異常 | 頼してください。 | | | |
| | 内部高温異常 約5分間そのままの状態で待ち、電源プラグ をコンセントから抜きます。 | 次の2点を確認してください。 ・壁際に設置しているときや、エアフィルター または排気口がふさがる場所に設置している | | | |
| | 高温警告 | ・エアフィルターの掃除または交換をします。 | | | |
| | ランプ異常 / ランプ点灯失敗 | 次の2点を確認してください。 ・ランプを取り出して、割れていなければ再セッ トして電源を入れます。ランプが割れている ときはお買い上げの販売店または表紙に記載 の連絡先にご相談ください。 ・エアフィルターを掃除します。 | | | |
| | ランプ交換勧告 | すみやかに、新しいランプと交換してくださ い。このまま使い続けると、ランプが破裂す るおそれがあります。 | | | |
| | オートアイリス異常 | 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上 げの販売店または表紙に記載の連絡先に修理 を依頼してください。 | | | |
| | 障害物検知異常 | 次の2点を確認してください。 ・投写窓付近の障害物を取り除きます。 ・障害物がないときは、障害物検知センサーを 掃除します。 | | | |

※ 上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店また は表紙に記載の連絡先に修理を依頼してください。